

秩父三十四カ所観音巡礼報告書（第2回）

写真・文 後藤

期 日 2018.11.6(火)～8(木)

参加者 後藤、高岡、渡邊典、田内、加藤、合谷、鈴木新、鈴木綾、星、松永＝10名

1日目（11月6日）＝火・雨

コース 三島・イトーヨーカ堂6：00～御殿場～塩山～雁坂トンネル～十八番・神門寺11：26～十九番・龍石寺11：40～二十番・岩之上堂12：53～二十一番・観音堂13：11～二十二番・童子堂13：25～二十三番・音楽堂14：23～二十四番・法泉寺16：10～巴川橋～バス～民宿「美あさ」（泊）17：15

雨の静岡を出発。今回は、雁坂トンネル経由。天気は、秋雨がショボショボ。次第に小雨。十八番からスタート。十八番から二十二番・童子堂は近い。



十八番・神門寺



女性先達さん



秩父・三千女図

二十二番・童子堂に着いた。お参りをしているとバス巡礼の方々が来た。女性のプロの先達さんが案内していた。堂の壁には、例の秩父・三千女図が掲げられていた。この絵は・・・。

・・・この板絵自体は古いものではなく、秩父の提灯屋のおかみさん、浅賀三千子さんが1988年から25年かけて描き、三十四箇所すべてに奉納されたものです。額の下には「三千女」の銘が入っています。この絵のもとになっているのは、江戸時代に出版された浮世絵シリーズ、西国・坂東・秩父の計百か所の「観音霊験記」です・・・ネット



十九番・龍石寺

次の二十三番・音楽寺は山の上。音楽に関係ある寺と思ったが、必ずしもそうでなかった。ただ、音楽関係者がヒットを祈願してお参りする、とネットにあった。

この日最後の法泉寺は、やや遠かった。道を間違え30分ロス。ご朱印締め切りの16時が迫っていた。サポーターが飛ばし何とか間に合った。

しかし、16時を過ぎて来た方もいて、一旦帰った係りは、また戻って来た。

この日の宿は「美あさ」。安価だが非常にいい宿だった。御主人の話では、最近いろいろ大変なので、近い将来閉めたいといった。こんないい宿がなくなるのは残念です。

2日目（11月7日）＝水・晴

コース 巴川橋発7：45—二十五番・久昌寺8：17—二十六番・円融寺10：28—二十七番・大淵寺11：25—二十八番・橋立堂12：49—二十九番・長泉院13：58—武州日野駅15：13～電車～浦山口駅15：54～バス～浦山山荘（泊）

宿「美あさ」の車で前日最終の巴川橋まで世間話をしながら送って貰う。92歳の母がいる。ポケ
ていないが、施設には絶対入る気持ちがないので対応が難しい。

また、男子子供が無く、後継ぎがないのでポチボチ、断捨離・周辺整理を考えてる、など。
物凄く丁寧な方で、出発する我々に、頭をいつまでも下げて見送ってくれた。荒川の橋を渡る。深
い渓谷に朝日で紅葉が素晴らしい。田舎道に入り、二十五番・久昌寺着。境内に灌漑用の大きな池
が広がる素晴らしい寺だった。池にはカモが数羽。



「美あさ」



御主人



二十五番・久昌寺

山を下って再び荒川を渡り対岸に移り、二十六番・円融寺。続いて二十七番・大淵寺。次の二十八番・橋立堂は武甲山の登山口が近い。観音堂の後ろは石灰岩の壁だった。受付の奥には、県天然記念物の鍾乳洞がある。入場料2000円で潜る。天井が低く頭を数回打った。なかなか興味深い洞だった。



二十六番・円融寺



二十七番・大淵寺



二十八番・橋立堂



鍾乳洞

高台の感じの良い道を進めば、二十九番・長泉寺。拙宅がある長泉町と同じ呼称だが、「ちょうせんじ」と読む。この観音堂にも、「秩父三千女」の額がある。読み方を寺坊主に聞いたが「分からない」だった(??!!)今日の宿、浦山山荘は、寺のすぐ近く。高岡・鈴木綾さんが、リタイヤで早めに宿に向かった。

今日の予定はここまでだったが時間があるので歩を進める。高台の道で眼下に秩父鉄道が伸びる。帰りはこれに乗る予定。未知の土地で電車に乗るのは楽しい。なだかんだで、結局、武州日野駅まで、1時間余り歩いた。帰りは、電車で浦山口駅に戻った。宿は、すぐ裏の高台にある。バスに来て貰い宿に入った。宿は、案外良かった。



秩父鉄道



電車巡礼



浦山荘



3日目（11月8日）＝木・晴

コース 浦山山荘 7:19～バス～武州日野駅 7:32一三十番・法雲寺 8:27一三峰口駅 9:37一
小森橋 11:30～帰静



浦山山荘



日野駅



秩父鉄道



三十番・法雲寺



町分付近



小松菜??

昨日最終の武州日野駅までバスで行く。天気は良い。駅から法雲寺を目指す。寺まで約3 km。秩父鉄道に沿って歩く。途中の畑で、小松菜みたいなのを大量に収穫していた。
小1時間で寺着。寺で孫の健康祈願をした。寺を辞し、秩父鉄道終点の三峰口駅（みつみねくち）から、荒川に架かる白石橋を渡り対岸に移る。橋で工事関係の黒人の方が、我々の巡礼姿が珍しがって、写真を撮らせてくれといった。



三十番・法雲寺



案山子



白沢付近

すぐ上の町分で地元のオジサンたちと交流。案山子が沢山ある町だった。ここから山間部を北へ北へ、田舎道を延々と歩く。特に変わったものもない。ここは忍耐・辛抱だ。

長い歩きで、11:30、小森川に架かる小森橋で今回は終了。第二回・秩父巡礼は、無事終了した。次回で結願予定。また、楽しもう。

(了)